林道東俣線内で発生した崩土による榎島ロッヂ宿泊者等の孤立への対応

1 これまでの経過と対応

昨日、9月19日、静岡市が管理する林道東俣線(全長27.3km)の起点である沼平ゲートから上流へ11.2km地点(葵区田代地内)で、崩土が発生しました。令和4年台風14号復旧工事が行われた場所です。

崩土により、林道上40mに渡り、約700m³の土砂が堆積しているものと推測されます。これまでにケガがいるとの情報はありません。

林道東俣線は、榎島ロッヂ宿泊者や工事関係者車両など許可車両以外の一般車両の通行を禁止しています。

崩土により、林道が埋塞し、かつ、斜面上部に崩落の可能性がある土石があることから、現在、通行できない状況です。

これにより、19日は、発生現場よりも上部にある榎島ロッヂに滞在している一般登山者や、リニア中央新幹線工事や林道東俣線の工事関係者、榎島ロッヂ従業員などが孤立しました。このうち体調不良(発熱)を訴えた1名の方を、市消防ヘリにより県立総合病院に搬送しました(17時15分搬送済)。

静岡市では、崩土の規模が大きく、多くの方が孤立状況にあったことから、19日15時45分に、市長を本部長とする市災害対策本部を設置しました。また、吉田副市長を本部長とする現地対策本部を井川支所に設置しました。

2 本日(20日)10時時点の対応状況

(1) 孤立している方々への対応

昨日(19日)中に、榎島ロッヂの一般登山者の方々、及び、20日に山から榎島に下山する予定の一般登山者の方々に、管理人を通じて、井川への移送の意向確認を行いました。その結果、一般登山者100名の方が、9月20日の井川への移送の意向を示されました。

これを受け、本日(20日)6時頃から、市消防ヘリ及び県防災ヘリによる榎島から井川への移送を開始しました。

具体的には、20日朝の時点で榎島ロッヂにいる方59名から優先して、榎島ロッヂ横のヘリポートから井川診療所横のヘリポートへ、1機4~7人ずつの移送を行っています。本日は、最大で135名の方を井川診療所横まで移送できる見込みです。

井川診療所横のヘリポートに到着した後は、市の公用車で、登山者用駐車場に車を停めている方は駐車場まで、JR静岡駅までの移送を希望される方は同駅までお送りしています。

また、現地には工事関係者が79名おり、うち井川への移送希望については、現在、調整中です。

【孤立している方々の内訳 ※9月20日10時30分現在】

	人数	ヘリ移送希望者	10時30分時点移送済者	ヘリ移送後の送り先
一般登山客 榎島口ツチ	59名	59名	55名	駐車場50名、 静岡駅4名、 その他5名
一般登山客 山小屋等	62名	41名+確認中	0名	駐車場41名+確認中
工事関係者	79名	調整中※	0名	—
	200名	—	—	

※一般登山客及びJ R東海以外の工事関係者（10名）の移送後に、J R東海の工事関係者を可能な範囲で移送することでJ R東海の了解済み

（2）林道東俣線の復旧

- ① 崩落状況の写真及びドローン映像
- ② 現地の状況を踏まえた復旧の予定

当面の対応として、明日までに、急病人を担架などで運ぶことのできる徒歩ルート（崩落地を通らないルート）を確保することを目指しています。

本格復旧には、斜面上部の土石を除く必要があります。このため、対策工法を速やかに決定し、23日（月）までには一部車両だけでも通行可能となることを目指しています。

3 9月21日（土）・22日（日）の対応予定

9月21日（土）・22日（日）は、天候の状況により、ヘリでの移送ができない可能性が高いとみています。

このため、20日中の移送を完了すべく、努力します。また、21日以降に榎島に残っている方で、井川への移動を希望される方は、徒歩ルート（崩落地を通らないルート）での移動を検討しています。